

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成27年9月10日(2015.9.10)

【公表番号】特表2014-520692(P2014-520692A)

【公表日】平成26年8月25日(2014.8.25)

【年通号数】公開・登録公報2014-045

【出願番号】特願2014-521734(P2014-521734)

【国際特許分類】

B 4 2 F 13/26 (2006.01)

【F I】

B 4 2 F 13/26

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月21日(2015.7.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

概ね同軸上に配置された複数の結合コイルを含む結合器具と、
前記結合器具の部分と概ね周方向に連結する固定装置とを備え、
各結合コイルは、先端が終端である概ね平行な一対のワイヤを備え、
各結合コイルは、結合器具の軸に概ね平行に延在する接続部により隣接結合コイルに接続されることを特徴とする結合器具システム。

【請求項 2】

前記結合器具は概ね軸方向に延在するギャップを有し、前記固定装置は前記ギャップを横断して概ね周方向に延在することを特徴とする請求項 1 に記載の結合器具システム。

【請求項 3】

前記結合器具は 1 本の長尺ワイヤからなり、前記固定装置は前記結合器具とは異なる材料からなることを特徴とする請求項 1 に記載の結合器具システム。

【請求項 4】

前記固定装置は、前記ギャップの両側において前記結合器具に連結されることを特徴とする請求項 3 に記載の結合器具システム。

【請求項 5】

前記固定装置は、前記結合器具の軸に対して整列されたスパインを備え、その対向側で前記スパインに連結された少なくとも 2 つのフック部を備え、各フック部は、前記結合器具の部分を固定的に係合するように形作られていることを特徴とする請求項 1 に記載の結合器具システム。

【請求項 6】

前記固定装置は、前記結合器具に対してある角度をなして概ね整列されたスパインを備え、その対向側で前記スパインに連結された少なくとも 2 つのフック部を備え、各フック部は、前記結合器具の部分を固定的に係合するように形作られていることを特徴とする請求項 1 に記載の結合器具システム。

【請求項 7】

前記固定装置は、かすがい様形態を有することを特徴とする請求項 6 に記載の結合器具システム。

【請求項 8】

前記固定装置は、一端において、その先端で又はその先端に隣接して結合コイルに連結され、他端において、連結部に連結されることを特徴とする請求項1に記載の結合器具システム。

【請求項 9】

前記結合器具の部分を概ね周方向に連結する補助固定装置をさらに備え、前記補助固定装置は、一端において、その先端で又はその先端に隣接して前記結合コイルに連結され、他端において、前記連結部から軸方向に離間された他の連結部に連結されることを特徴とする請求項8に記載の結合器具システム。

【請求項 10】

前記固定装置は、2つの隣接接続部と前記対向先端部とを接続することを特徴とする請求項1に記載の結合器具システム。

【請求項 11】

前記固定装置は、前記2つの隣接接続部及び前記対向先端部周囲で包まれた1本のワイヤであることを特徴とする請求項10に記載の結合器具システム。

【請求項 12】

前記固定装置は、上面図で概ね三角形の形状を有することを特徴とする請求項11に記載の結合器具システム。

【請求項 13】

前記固定装置は前記ワイヤの一端に2つの先端を有し、各先端は前記三角形の一边周囲で包まれることを特徴とする請求項12に記載の結合器具システム。

【請求項 14】

前記固定装置は前記ワイヤの一端に2つの先端を有し、各先端は前記結合コイルの先端周囲で包まれることを特徴とする請求項12に記載の結合器具システム。

【請求項 15】

前記固定装置は前記結合器具に溶接又は接着された材料を含むことを特徴とする請求項1に記載の結合器具システム。

【請求項 16】

前記材料は少なくとも部分的に取り囲まれ、前記結合コイルの先端及びそれに対向して配置された連結部に接着することを特徴とする請求項15に記載の結合器具システム。

【請求項 17】

前記材料は金属、プラスチック、ポリマー又は接着材料からなることを特徴とする請求項15に記載の結合器具システム。

【請求項 18】

二重ワイヤ器具を備え、

前記二重ワイヤ器具は、

接続部の幅が先端部よりも広い対向する選択的な先端部及び接続部を形成するための長手方向軸周囲に概ね円形状に曲げられた長尺ワイヤと、

スパイン部に沿って全てが連結された一对の接続フック部間に配置された先端フック部によって対向された一对の接続フック部を含むコイルスパイン継ぎ手とを備え、

前記一对の接続フック部は、対応する隣接接続部を協同的に係合するように適合され、前記先端フック部は、対応する対向先端部を係合するように適合されることを特徴とする二重ワイヤ結合器具用固定器具。

【請求項 19】

スパイン部に沿って連結された少なくとも1つの先端フック部によって対向された少なくとも1つの接続フック部を備え、前記接続フック部は、二重ワイヤ結合器具の対応する接続部を係合するように適合され、前記先端フック部は、二重ワイヤ結合器具の先端部を係合するように適合されることを特徴とする二重ワイヤ結合器具と用いられるコイルスパイン継ぎ手。

【請求項 20】

前記少なくとも1つの接続フック部は、一对の接続フック部を備え、前記先端フック部

は、前記一対の接続フック部間に配置され、前記一対の接続フック部は、二重ワイヤ結合器具の対応する隣接接続部を係合するように適合され、前記先端フック部は、二重ワイヤ結合器具の対応する対向先端部を係合するように適合されることを特徴とする請求項19に記載のコイルスパイン継ぎ手。